

TTC 提案山行実施記録表

2016.3.10 KS

山行名	丹沢主脈縦走 (塔ノ岳～丹沢山～蛭ヶ岳～焼山) [1, 491m/1, 567m/1, 673m/1059m 神奈川県]						
実施日	2016年2月27日(土)～28日(日) 1泊2日			交通アクセス: 公共、タクシー			
天候/参加人員	天候 2/27:晴, 2/28 晴 レベル:★★★ 参加者:10名(男4名/女6名)						
パーティスタッフ	CL/計画: SL: 会計: 救護: 写真: 、スタッフ名削除						
参加メンバー	☆ 参加者氏名 ☆ ☆印は班長						
費用(集金)	[内訳]宿泊費:蛭ヶ岳山荘 (@6,500×10名) プリオールで500円割引の為¥65,000-、タクシー(@2,620-×2台+2,710-) ¥7,950-、通信費+コピー¥1,000、その他(ガスボンベ:300×2) ¥600-、合計¥74,550-、集金(7,500-×10) ¥75,000-、カンパ金¥450- 個人負担交通費:本厚木-渋沢@278-、渋沢-大倉@206、三ヶ木-橋本@430、橋本-本厚木@216+@247 交通費小計:¥1,377- (本厚木起点の場合)						
所要時間	-	歩行時間		休憩時間		行動時間	
	-	2/27	2/28	2/27	2/28	2/27	2/28
	ガイドブック	6:30(無雪期)	4:25(無雪期)	-	-	-	-
	計画	7:45	6:00	1:30	1:40	9:15	7:40
	実行	7:10	4:55	1:35	1:25	8:45	6:20

実行コースタイム記録

◆2/27 (土)

小田急 秦野交通	0:35	0:20	0:35	1:25
本厚木====渋沢====大倉	観音茶屋手前	見晴茶屋手前	駒止茶屋	堀山の家
6:11	6:32/6:48 7:00~7:10	7:45~50	8:10~15	8:50~9:00 (9:22)
0:45 昼食 0:55	0:30	0:45	1:20	
立花山荘	塔ノ岳	竜ヶ馬場	丹沢山	不動の峰東屋
10:25~35	11:20~12:00	12:55~13:00	13:30~40	14:25~35
				棚沢ノ頭
				蛭ヶ岳山荘(泊)
				15:55

◆2/28 (日)

0:35	0:30	0:35	大休止	0:50	0:55	昼食	0:40
蛭ヶ岳山荘	地藏平手前	姫次	黍殻山避難小屋	焼山			
6:55	7:30~35 8:05~10	8:45~9:15	10:05~15	11:10~40			
0:50	タシ-	神奈中	JR 横浜線	小田急			
分岐	焼山登山口	三ヶ木	橋本	町田	本厚木		
12:20~25	13:15~13:30	13:45/13:48	14:30/14:42	15:30	頃着		

コースの概要、特記事項、反省事項等

例年この時期は積雪が期待できたのですが、今年は暖冬の為に1週間前には完全に雪が消えてしまいました。一時は、大雪になったら出発時間を早めようと考えていましたが、全く心配がなくなり気が抜けるほどでした。幸い、前日の朝に薄らと雪化粧し多少ですが、期待をつなぐことができました。

朝、天気は良く渋沢駅で全員合流しました。バス乗り場は結構登山客で賑わっており、定刻の10分前に臨時便がでるほどでした。大倉で全員揃った後HMさんの音頭で入念に体操を行ないました。快晴の下、15分早く出発できました。順調に観音茶屋や見晴茶屋を通り過ぎて行きました。

駒止茶屋を出発し間もなくSaKさんが足が攣ったと言って立ち止まりました。アミノ酸の補給や塩分補給そしてSeKさんのマッサージにより5分ほどで回復しました。その後はSaKさんのペースに合わせて歩きました。予定より20分早く塔ノ岳に到着しました。塔ノ岳山頂は比較的温かったが、6名が山小屋で温かいコーヒーや甘酒を飲み、4名は外で景色を見ながらお昼を食べていました。

昼食後蛭ヶ岳山荘に向かって出発。斜面北側は雪が数センチ積もっていたが雪質は柔らかくアイゼンを着ける程ではありませんでした。南側斜面は雪が溶けてドロドロで歩きにくい状態でした。竜ヶ馬場で休憩し丹沢山に到着。しばし休憩し、丹沢山の看板前で写真も撮りました。

此处から先は登山者もまばらになりました。登山道を下り、また登り始めたところに東屋があり、そこで休憩しました。かつて2年前に姫次に下見に来た時、その年は大雪で東屋の屋根まで積雪があったと聞きました。更に先へ進み、不動ノ峰や棚沢ノ頭を通り、鬼ヶ岩に来ました。ここは今回の一番の難所と考えていました。

しかし、鬼ヶ岩は岩場で雪は一部分にしかなく、クサリも使用できる状態になっていたのでアイゼンは着けずに降りることができました。特に問題も無く比較的スムーズに通過できました。

蛭ヶ岳山荘には予定より 45 分早く到着しました。泊り客は全体で 25 名ほどでした。プリオールカードを全員が持っていたので 500 円引きの 6,500 円で泊まることができました。飲料水は有料でした。食事まで時間があるのでテーブルを囲んで懇親会を行いました。女性陣が持ち寄った手作りの漬物やおかず、そしてつまみ類と美味しいものが沢山ありました。アルコールも焼酎、ウイスキー、ワイン、日本酒、所狭しと並べられました。ドライフルーツの入ったホットワインも好評でした。夕食は恒例のおでんでしたが、ご飯もおいしく、ほぼ満足できる食事内容でした。但し口に合わない人もいたようです。8 時に消灯で寝部屋には暖房が無いため寒く、自分はダウンを着て寝ました。外は夕方からやや強風でした。

朝 3 時過ぎに外へでたら月が真上に見え雲もなく星がきれいに見えまじ図体た。夜景も相模原・横浜・東京方面がすぐ眼下にきれいに見えました。平塚・小田原方面も見えましたが、寒くて山荘へ戻りました。朝食は 5:45 からで日の出は 6:15 頃でした。若干地平線に雲が掛かっていました。

食後、アイゼンが必要かどうか、登山道を確認しに行きました。木の階段の両端には雪が残っていたが、歩くところには雪はほとんど残っていませんでした。アイゼン無しで行けそうでした。今日も空は晴れ渡り真白い富士山が山々の向こうに一際高く見えました。展望を楽しんだりみんなで写真を撮ったりしました。

7 時前に出発しました。木道の階段には雪はほとんど無かったのですが、霜で滑りやすくなっていたので、KE さんがアイゼンを装着しました。この辺は蛭ヶ岳の北斜面で雪が 5cm 程度残っていたが柔らかい雪で凍っているところはほとんど無く、歩きやすい方でした。地蔵平手前が一番雪が多く雪景色の雰囲気がありました。姫次には 9 時前に到着しました。ガスコンロでお湯を沸かし、30 分のゆっくりしたコーヒータイムにしました。その後黍殻に向かいました。なだらかな樹林帯の尾根を進みました。日当たりの良い南側の尾根は暖かく日だまり山行状態でした。黍殻避難小屋でトイレ休憩、約 2 年前に完成しきれいなっていました。小屋の前は広々とした広場で、キャンプができそうな場所でした。避難小屋は登山道から下に降りたところがありました。SaK さんがザックを小屋入口分岐に置いて広場を通過し、出口で合流した時、女性の SR さんが SaK さんのザックも一緒に抱えて持って来ていたので、すごいパワーに全員ビックリしました。見かけによらず怪力でした。

尾根伝いに進み焼山に到着、此处で昼食。展望台用の鉄塔があり、最上部からは相模原が一望でき、宮ヶ瀬ダム湖や虹の大橋も見えました。ここでタクシーを呼ぼうとしましたが電波が弱いので林道に降りてから連絡することにしました。

今日の下山時には時々すれ違うパーティが数組ありました。二人組が多かったのですが単独行もありました。ようやく林道に着きタクシーを呼びました。三ヶ木から焼山登山口まで約 20 分、此处から登山口のバス停まで歩行 10 分でした。登山口バス停到着後、10 分で 1 台目のタクシーが来ました。その後 10 分弱で 2 台目と 3 台目が来ました。三ヶ木からのバスは 1 2 分間隔で橋本行きが出ており順調に橋本に到着しました。橋本から相模線に乗る人もいたので橋本で解散にしました。

今年は暖冬の為、雪が少なく 2 日目の行動時間は 1:20 も早く到着できました。楽な山行ではあったが、残念な気持ちもありました。しかしながら晴れ男・晴れ女に恵まれ、楽しい 2 日間の山行でした。ありがとうございました。

－以上－